

育休中でも上司とコミュニケーション
できる環境がありました。

株式会社 群馬銀行

本店 ■〒371-0846 群馬県前橋市元総社町194番地

■TEL.027-252-1111

■http://www.gunmabank.co.jp/

●本店営業部 新井 広美さん



Q 学生時代に仕事を継続することについてどのように考えていましたか。

A 学生時代には自分がここまで働き続けるとは思っていませんでした。入社して数年が経つうちにだんだん仕事も楽しくなってきました。人間関係にもとても恵まれていたのでこのままずっと働き続けたいと思うようになりました。

Q 毎日の家事や育児をどのように分担されていますか。

A お互い働いている以上は同じ立場なので、家事をきっちり分担するのではなく、お互いがその時々に行えることを率先してやっつけていこうということとで一致しています。育児についても姿勢は一緒です。但し、育児に関しては母親の負担が大きくなってしまつので朝と夜と週末の限られた時間に子どもに集中するようにしています。

Q キャリアを積むにあたって出産や育児をどのように考えていらっしゃいますか。

A 以前は仕事をしていく上で出産や育児はマイナスになってしまうのではないかと考えていましたが、出産や

育児という人生において大きな経験をしたことで、今までは違う視点で物事を考えることができるようになりました。家族や周りの方々に支えられての自分ということにも気づき、家族や周囲に感謝できるようになりました。

Q 御社には女性の活躍をサポートするためにどのような制度があり、それらをどのように知りましたか。

A 出産休暇・育児休暇・短時間勤務などの制度が整っていて、それらの制度が利用しやすい環境にあります。会社から育児介護関連制度というリーフレットが配布され、組合からも福利厚生制度に関するリーフレットが配布されています。職場復帰をする際には、事前に上司（部長や支店長）と面談して、不安や疑問点を解消することができました。育児休暇中に事務のやり方が変更している場合もあるので、希望者は復帰予定の部署を休みの間に訪問することも可能です。職場復帰に関する相談事があれば人事部に相談することもできます。また、男女に共通して、定時で帰る日を月に4回、設定しています。支店長はじめ皆が残業をしないことにしています。

Q 仕事を継続して良かったと思うことを教えてください。

A 仕事をする中で、友人同士のつきあいでは得られることのできない考え方や、仕事に対する姿勢を学ぶことができました。それが自分にとってとても大きな財産になっています。今後こうして仕事と育児を両立していくことで、将来子どもが大きくなった時にお母さんは頑張っていたのだと思ってもらえたら嬉しいです。



学生の声

「感謝の心を忘れないことが大事」と語る姿が印象的だった新井さん。産休を経て職場復帰し、育児と仕事を両立できているのは家族や職場のおかげだと考えていらっしゃいます。群馬銀行さんはワークライフバランス推進のため、時間外勤務の管理などを徹底しており、職場の人間関係も良好で、上司や先輩に相談がしやすい環境が整っていました。こういった会社の制度やサポートにより、女性が働きやすい職場が生まれるのだと思いました。